

伝えたい 残したい

20世紀 のうしく

問 文化芸術課(中央生涯学習センター内) ☎871-2300

米俵作り

昭和32年(1957年)



「昔のうしく」の写真(とくに昭和40年代までの写真・東部地区の写真)を募集しています。

久野町で撮影された米俵作りの様子です。米俵は、収穫した米を入れるために藁(わら)などを編んで作った袋です。俵はコモといわれる筵(むしろ)とタワラボッチといわれる上下の蓋(ふた)でできており、これらは主に農閑期、収穫後の稲藁を干したもので作りました。

写真中央右の女の子は重ねられたタワラボッチの上に座り、その後ろに大量のコモとタワラボッチが見えます。前年より作り置きしたコモとタワラボッチを組み合わせて米俵を作り、この年に収穫した米を入れる準備をしているところだと思われます。

里山の樹木

問 都市計画課
☎内線2524



第47回

ニシキギ

ニシキギ科の落葉広葉樹の低木。北海道から九州に分布。市内では、雑木林等に自生、また庭園等に植栽されています。枝には4稜があり、稜上に褐色の薄い板状のコルク質の翼があります(画像②)。翼の無いのがニシキ

①紅葉期のニシキギの樹姿:
新地町(平成24年10月26日撮影)
②枝の翼と花:牛久自然観察の森
(平成24年4月30日撮影)

文芸さろん | 霜月 |

秋夜長コーヒー入れてジャズを聞く 山崎さん
忘れんぼの頭の中は破蓮(やれはらす) 淑子
二科展の空気動けり裸婦の像 進の介
子ら唄う敬老会を若くする 秋穂
空手道あつき声援秋国体 長沢さん
静かなる秋の夜長に土佐日記
栗の実おつる音が聞こゆる 草葉
涼風に黄金の穂先波打てば
車窓に映る頬を撫でゆく 三日月



◀渡辺さん

<次回募集テーマは「冬」>

【作品募集】イラストや俳句、川柳、短歌など
【あて先】〒300-1292 牛久市中央3-15-1
「広報うしく文芸さろん」係 FAX: 873-2512
E:kouhou@city.ushiku.ibaraki.jp
【記載事項】作品、氏名、電話番号
匿名希望の方はその旨(ペンネームもOK)



ギの品種のコマユミ。葉は対生、葉身の長さは2~9cm、長楕円形または倒卵形、鋭い鋸歯があります。本年枝から集散花序を出し、直径7mmほどの黄緑色の小さな花を数個つけます。画像②のように花卉と雄しべは4個で、雌しべは1個で長・短花柱型があります。果実は蒴果で1~2個の分果に分かれ、秋に赤い種子が顔を出します。名前は漢字の錦木で、紅葉が非常に美しいので錦に例えたものです。※牛久の里山樹木ハンドブック43ページ掲載。本の問い合わせは牛久自然観察の森(☎874・6600)まで。

【資料提供】NPO法人うしく里山の会
(文章: 本田寛、写真: ①戸塚昌宏、②渡辺泰)

「牛久の巨樹」発売中 ※お求めは都市計画課まで(1,200円)